

問1 源頼朝が1185年に地頭や守護を設置する権利を朝廷に認めさせた、歴史的な背景や目的として最も適切な説明はどれか。

(2016年 奈良公立入試 類似)

1. 源義経の追捕を名目に、全国的な軍事・警察権と徴税権を掌握するため
2. 元寇による国家的危機に際し、九州沿岸の警備を強化するため
3. 承久の乱で勝利した結果、西日本に控えていた朝廷勢力を監視するため
4. 守護大名の権力増大を抑え、将軍による専制政治を確立するため

問2 鎌倉幕府が博多湾の海岸線に沿って「石築地（防塁）」を築いた目的や、その軍事的な効果についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. モンゴル軍の再上陸を困難にさせ、日本側の武士が石垣の背後から弓矢で攻撃するのを有利にするため。
2. モンゴル軍が使用した「てつはう」と呼ばれる火薬兵器の爆風を、石垣の高さによって海側へ跳ね返すため。
3. 博多の町を津波から守る防潮堤として活用すると同時に、幕府の土木技術を海外に示すため。
4. 外国との交易窓口を博多一か所に限定し、許可のない船が着岸できないように物理的に封鎖するため。

問3 奈良時代、唐から5度の渡航失敗や失明という困難を乗り越えて来日した僧がいます。彼が当時の日本において、僧侶が守るべき規律として確立し、授けたものを何といいますか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

1. 戒律
2. 禪
3. 念仏
4. 加持祈祷

問4 源頼朝が全国に守護・地頭を設置する権限を朝廷に認めさせたことは、その後の日本の政治体制にどのような変化をもたらしたと考えられますか。その背景と目的を含めた説明としてふさわしいものを選びなさい。 (2026年 広島公立入試 類似)

1. 朝廷が派遣していた国司の権限を完全に消滅させ、幕府が直接税金を徴収する中央集権体制を即座に完成させた。
2. 武士が荘園や公領の実質的な支配権を握ることで、幕府が全国の武士を統制し、地方政治に介入する仕組みを整えた。
3. 貴族による土地所有を全面的に禁止し、すべての土地を将軍の直轄地とすることで、封建社会を終わらせた。
4. それまで続いていた律令制度の地方官職である国司や郡司と、武家側の守護・地頭を統合し、新しい文武両道の役職を作った。

問5 モンゴル（元）の襲来を退けたにもかかわらず、その後の鎌倉幕府の支配が急速に揺らぐ原因となった背景として、正しい説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 防衛に成功したものの、恩賞として与える土地が不足していたため、戦費で困窮した武士の不満が高まった。
2. 襲来をきっかけに朝廷が政治の実権を取り戻し、幕府を倒すための兵を挙げたため。
3. モンゴル軍との戦いを通じて、武士たちが幕府よりも天皇を重視する考えを持つようになったため。
4. 幕府が防衛のために重い税を全国の農民に課したことで、大規模な一揆が各地で頻発したため。

問6 鎌倉時代、日蓮は社会の混乱や自然災害を背景に新しい教えを広めました。この教えが、平安時代までの天台宗などの伝統的な仏教と異なり、武士や民衆に受け入れられた理由として適切な説明はどれですか。 (2014年 和歌山公立入試 類似)

1. 複雑な経典の読誦や厳しい修行ではなく、題目を唱えるという簡潔な行為で救われるとしたため
2. 各地で一向一揆を起こし、政治的な支配に対抗することを民衆に推奨したため
3. 国分寺を拠点として、国家の保護を受けながら大規模な寺院ネットワークを構築したため
4. 座禅によって自分の力で悟りを開くことが、精神鍛錬を重んじる武士の気風に合致したため

問7 1221年に起こった戦乱において、後鳥羽上皇が率いる朝廷軍を破った鎌倉幕府が、その後の戦後処理として、朝廷の監視や外国の武士の統制を目的に京都に設置した役職は何ですか。 (2016年 高知公立入試 類似)

1. 六波羅探題
2. 京都守護
3. 執権
4. 問注所

問8 東大寺南大門には、運慶や快慶らによってわずか69日で制作されたとされる金剛力士像が安置されています。この像に見られるような、鎌倉時代の彫刻における表現上の工夫について説明したものと正しいものはどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)

1. 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した
2. 仏の慈悲深さを伝えるため、穏やかな表情と曲線的な造形を重視した
3. 左右対称の構図を厳格に守り、静寂の中に荘厳さを表現した
4. 金箔や宝石をふんだんに使い、極楽浄土の華やかさを再現した

答え合わせ・解説

問1	答え 1 源義経の追捕を名目に、全国的な軍事・警察権と徴税権を掌握するため	源頼朝は、壇ノ浦の戦い後に逃亡した源義経を捜索・逮捕することを正当な理由（名目）として朝廷と交渉し、全国に守護と地頭を設置する法的な許可を得ました。これによって幕府は、それまで朝廷や貴族が支配していた荘園や公領に対しても、武力的な警察権や経済的な徴税権を背景に介入することが可能になりました。
問2	答え 1 モンゴル軍の再上陸を困難にさせ、日本側の武士が石垣の背後から弓矢で攻撃するのを有利にするため。	文永の役では元軍の上陸を許し、馬上の武士が個別に挑む日本の戦法が通用せず苦戦しました。その反省から、2度目の弘安の役では元軍を海上に釘付けにする作戦がとられました。築かれた防塁は、元軍の馬による上陸を阻むとともに、日本側の武士が身を隠しながら得意の弓矢で射かける拠点として機能し、元軍に大きな損害を与えました。
問3	答え 1 戒律	鑑真は、日本の聖武天皇の招きに応じ、僧侶としての資格を認めるための正式なルールである「戒律」を伝えるために来日しました。これにより、それまで自分勝手に僧侶を名乗る者が多かった日本の仏教界において、国家公認の僧侶を育成する仕組みが整えられました。鑑真は唐招提寺を建立し、多くの僧侶に戒律を授けました。
問4	答え 2 武士が荘園や公領の実質的な支配権を握ることで、幕府が全国の武士を統制し、地方政治に介入する仕組みを整えた。	守護・地頭の設置は、それまで朝廷や貴族が中心だった地方支配の枠組みに、武力を持った幕府が介入する決定的な転換点となりました。特に地頭が荘園や公領に入り込み、土地の管理権を得たことで、現地の有力な武士（御家人）に経済的な裏付けを与え、彼らを幕府の指揮下に置くことが可能になりました。ただし、当初は国司の権限も残っており、朝廷と幕府による二重の支配構造となっていた点に注意が必要です。
問5	答え 1 防衛に成功したものの、恩賞として与える土地が不足していたため、戦費で困窮した武士の不満が高まった。	当時の武士にとっての恩賞は、主に敵から奪った土地を分配することでした。しかし、元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦だったため、新たに分け与える土地がありませんでした。多額の軍費を自己負担して戦った御家人たちは、十分な報いを受けられなかったことで生活が困窮し、幕府への不信感を強めていきました。
問6	答え 1 複雑な経典の読誦や厳しい修行ではなく、題目を唱えるという簡潔な行為で救われるとしたため	平安時代までの仏教は、貴族中心で複雑な儀式や深い学問を必要とするものが主流でした。しかし、鎌倉時代に登場した日蓮宗は、題目を唱えるという「実行しやすい修行」を提示したため、文字が読めない民衆や日々の公務に追われる武士の間にも急速に広まりました。日蓮は、法華経の教えを中心に据えることで、個人の救済と国家の安泰を同時に追求しました。
問7	答え 1 六波羅探題	承久の乱に勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流すと同時に、これまで幕府の影響力が弱かった朝廷や西国を監視する必要性に迫られました。そこで、京都の六波羅に拠点を置く「六波羅探題」という役職を新設し、朝廷に対する支配力を強めました。
問8	答え 1 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した	運慶や快慶に代表される慶派の仏師たちは、それまでの伝統的な様式にとらわれず、解剖学的な正確さやダイナミックな動きを重視しました。金剛力士像では、怒りを見せる表情や強調された筋肉、血管の描写によって、武士が台頭した時代の力強さが表現されています。